



賢く 優しく 逞しく

6月号・令和5年6月1日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

武蔵村山市立第五中学校

限界突破

校長 榎戸 千代子

6月の和風月名は、「水無月」です。「水無月」の「無」は「ない」ではなく、連体助詞の「の」であり、「水の月」であるとする説が有力です。また、旧暦6月は田植えが一段落して田に水を引く「水張月（みずはりづき）」「水月（みなづき）」を語源とする説や、人々の暮らしを支える大仕事だった田植えを終えた月、すなわち「皆仕尽（みなしづき）」であるとする説もあります。いずれにしても農作や田植えに関する説が多いようです。

6月となり、早いもので1年の折り返し地点を迎えました。梅雨入りすると湿度が高まり、蒸し暑さも増してきます。体調管理に気を付けたいものです。



先月、5月11日（木）に市教委訪問があり、教育長 池谷光二先生をはじめ、8名の教育委員会の皆様が来校されました。

玄関を入る前、教育委員会の皆様の姿が見えたときから、「こんにちは。」の声。そして、校舎内ですれ違うときも「こんにちは。」「こんにちは。」と気持ちの良いあいさつが校舎内を飛び交いました。来校された教育委員会の皆様からも「あいさつが素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただきました。また先日、地域の方からも、道ばたの畑で農作業をしていたときに、通りかかった五中生が「こんにちは。」とあいさつをしてくれたことが、とてもうれしかったというお話をいただきました。

人と接したときに「あいさつ」することは、開校以来の本校の継続した目標であり、学校経営方針の柱の一つでもあります。皆様から褒めていただき、大変うれしく思います。これからも相手を思いやり、進んで気持ちの良いあいさつのできる子供たちを育成してまいります。

さて、先月27日（土）に「第44回 運動会」が行われました。今年度は、新型コロナウイルスが5類扱いとなり、久しぶりに御来賓の皆様をお迎えし、入場制限なし、そして、午後までの全日開催で実施することができました。

開会式では、「ここまででいいや。」という自分の限界を決めずに限界を突破し、自分の力を最大限に発揮してほしい、そして、そのためには「全力」と「団結」を意識して個人種目や団体種目に臨んでほしいという話をしました。

子供たちは期待に応え、一生懸命に取り組んでくれました。一人一人が、ゴールを目指して全力で走る姿は格好良く、美しく見えました。また、出場している選手に向かって、「がんばれ～！！」「あきらめるな！」などと全力で応援する姿もたくさん見られました。応援席から聞こえてくる生徒たちの励ましの言葉は、選手の力（エネルギー）になりました。大声を出せる、久しぶりの運動会は、これぞまさしく“本来の運動会”であり、大声援が熱く、温かく感じられました。



また、団体種目でも、クラスでよく声を掛け合って、団結・協力することができました。特に、3年生が行う「大むかで」は、一糸乱れぬ足裁きで、どこのクラスが優勝してもおかしくないほどの迫力があり、圧巻でした。そして、最後のクラスがゴールするまで、レースを終えた他クラスの人たちがそばで一緒に応援をする姿も素敵でした。こうして仲間をたたえ、相手を思いやれる3年生の姿を下級生たちが見て、毎年五中の伝統が受け継がれています。

当日はたくさんの御来賓、保護者、地域の皆様に御来場いただき、誠にありがとうございました。

明るいいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）